

# 「景気見通し調査」 結果報告書

調査期間 令和2年6月

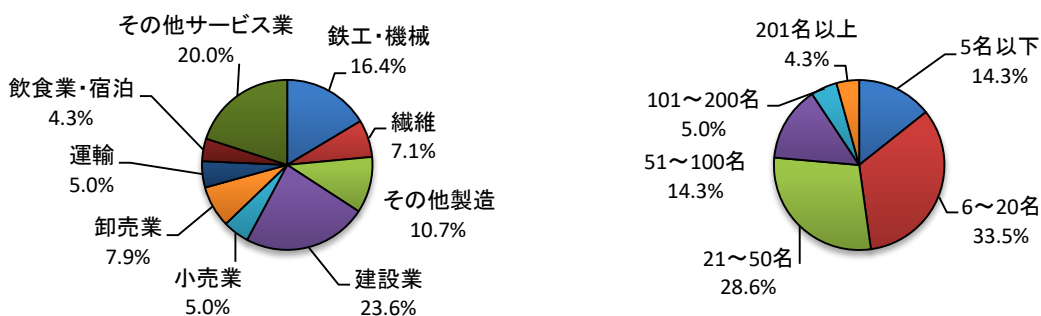
小松商工会議所  
中小企業相談所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 223社

回答企業数 140企業（回答率 62.8%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		3	9	6	4	1	23
	繊維	2	3	3	2			10
	その他製造	3	2	2	4	1	3	15
建設業		3	17	11	2			33
小売業		1	2	1	3			7
卸売業		3	4	3		1		11
サービス業	運輸		1	2	3		1	7
	飲食業・宿泊	2	2	2				6
	その他サービス業	6	13	7		1	1	28
合計		20	47	40	20	7	6	140



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 ……D. I(ディフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 …… 令和1年度第4四半期(令和2年1月～3月)

今 期 …… 令和2年度第1四半期(令和2年4月～6月、但し6月は見込み)

来 期 …… 令和2年度第2四半期(令和2年7月～9月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景 況 感 …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高 …… DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 …… DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

## (1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	1	1				3	1	3		1	1	4	1	1
不変	1	6		4	1	4	11	12	2	1	2	5	9	18
悪化	20	15	10	6	13	6	21	18	5	5	8	2	30	20
無回答	1	1			1	2							1	2
総計	23		10		15		33		7		11		41	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

## 【今期：好転の理由】

前期はコロナの影響で中国向けが停滞していたが、今期は中国が少し動き出した為増加した (鉄工・機械)
ゴールデンウィーク明けより、少なからず現場が動きはじめた (建設業)
コロナ渦でマスク、ハンドソープ商品が好調 (卸売業)
動きを感じる (その他サービス業)

## 【今期：不変の理由】

取引先の稼働日の減少 (その他製造)
売上高が昨年とほぼ変わらないから (建設業)
工事発注量の不変 (建設業)
官公庁工事発注状況に特に変わりなし (建設業)
年度初めは毎年変わらず (建設・卸売業)
料理屋などの従事者の減少による売上低下 (小売業)
コロナウイルスのため (飲食業・宿泊)
著変なし (その他サービス業)
業務的に減少しなかった (その他サービス業)
年末の雪不足の悪い影響もあり、それがコロナで継続した (その他サービス業)
単価値上がりにより少し良かったが、又元に戻ってくる (その他サービス業)

## 【今期：悪化の理由】

コロナ渦による経済活動の減退 (鉄工・機械)
コロナウイルス感染拡大、第2波がやってきそう (鉄工・機械)
海外工場ストップによる影響 (鉄工・機械)
国内、国外の不振 (鉄工・機械)
前期から更に売上高減少 (鉄工・機械)
全世界が同時に需要減になっていて、いつ回復するかわからない (鉄工・機械)
先行が不透明 (鉄工・機械)
受注不安定につき未定 (鉄工・機械)
受注減少、生産計画も下方修正 (鉄工・機械)
主要客先の生産調整によるもの (鉄工・機械)
コマツの生産計画より (鉄工・機械)
工作機械、産業機械(プレス)等の受注減少 (鉄工・機械)
エンドユーザー生産調整、生産停止が影響 (鉄工・機械)

観光バス生産 90%ダウン (鉄工・機械)
コロナ環境下における経済全体の不振 (繊維)
緊急事態宣言により、物流・人の動きが止まり、売上は急減 (繊維)
新型コロナウイルスの影響で全カテゴリーの売上不振(減少) (繊維)
発注の激減 (繊維)
自社のターゲットとしている、中高生品の売り場が、暖冬と新型コロナの影響でクローズしたため、先物受注が激減した (繊維)
弊社始まって以来の売上減少、政府の施策に感謝 (繊維)
コロナの影響で経済活動がストップした (その他製造業)
コロナの影響でユニットバスの工事現場も一部停止したため (その他製造)
コロナの影響により、受注機会の減少など (その他製造)
取引先の休業継続や時短、景況悪化などの継続が緊急事態宣言解除後も継続 (その他製造)
大手受注先による生産調整の影響が強く表れており、今後の回復も不透明感を持つ (その他製造)
建機・自動車の受注減 (その他製造)
受注の落ち込みが酷い (その他製造業)
瓦出荷量が減少 (その他製造)
新型コロナウイルスの影響により予定していた工事が中止に (建設業)
公共事業関係の発注の遅れなどによる (建設業)
コロナの影響で受注工事が延期となっている (建設業)
4.5 月受注減少 (建設業)
全体に冷え込んでいて、次に何が起こるか分からない感じ (建設業)
先がみえない (建設業)
企業等の設備投資減、個人消費も弱い (建設業)
民間設備投資の減少(全ての業種) (建設業)
消費税+コロナ (建設業)
新幹線工事がほぼ終了し、工事が少ないため (建設業)
毎年第 4 四半期より悪くなる (建設業)
コロナで飲食店の売上減少 (小売業)
第 3 クォーター期間の悪化により全体が悪化方向である (小売業)
諸活動自粛による売上減少 (小売業)
生産・消費活動の停滞 (小売業)
コロナの影響大 (小売・卸売業)
コロナ渦でイベントなしのため、容器は売れない。飲食店がだめ (小売・卸売業)
主力をはじめほとんどの業種の企業の稼働が大きく落ちている (卸売業)
顧客企業の稼働率大幅下落 (卸売業)
コロナによる取引先の休業や縮小 (卸売業)
コロナウイルス感染症による売上の減少 (卸売業)
単純に仕事量が落ちている (運輸)
新型コロナウイルスの影響で収入が減少しているため (運輸)
景気の悪化に加え、コロナによる受注減少 (運輸)
物量が減少著しい (運輸)
国内需要の停滞により、物量全体が下滞り (運輸)
自粛で客が来ない (飲食業・宿泊)
コロナで昨年の売上の 20%以下 (飲食業・宿泊)

コロナ休業要請により（その他サービス業）
市場が動かず（その他サービス）
解除後にお客様の動きはあるが、まだ戻りきっていない（その他サービス業）
コロナの影響の出る前に受注した仕事がある（その他サービス業）
市場全体の景気後退（その他サービス業）
コロナ渦(生まれて初めての不況感)（その他サービス業）
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う航空旅客の大幅な減少（その他サービス業）
三密防止のための利用人数調整のため(ディサービス等)（その他サービス業）
新型コロナウイルスによる売上減少もあるが、コロナのせいだと、働かないスタッフの人災にちかい (その他サービス業)

【来期：好転の理由】

7月より好転になる(一部海外向け)（鉄工・機械）
7月からは少しずつ戻ってくるのではないかと。しかし以前のようにはすぐにはならないと思う (その他製造)
コロナの収束による（その他製造）
工事停止した現場を含め、平常レベルに戻ると予測（その他製造）
6月中に大規模工事受注予定（建設業）
今期が悪かったので（建設業）
コロナの直接的な影響は秋以降に現れる（建設業）
新規建設現場の増加（建設・卸売業）
少しずつ戻りつつあるので（小売業）
取引先の回復に期待（卸売業）
脱コロナウイルス感染症から経済活動の復活（卸売業）
少しは改善するか（その他サービス業）

【来期：不変の理由】

受注不安定につき未定（鉄工・機械）
全世界が同時に需要減になっていて、いつ回復するかわからない（鉄工・機械）
明るい材料がない（鉄工・機械）
第2波後なので、不変とした（鉄工・機械）
今期の景況は来期以降も当分続く（繊維）
コロナ環境下の経済は今しばらく続くと想定（繊維）
少しずつ持ち直す予定であるが、コロナ前には戻らないと考えている（繊維）
各社とも売上がない為、仕入れは抑制、在庫は減らす方向へ（繊維）
9月頃までは、景況感など様子見になると予測（その他製造）
取引先の稼働日の減少（その他製造）
回復しない（建設業）
今後も売上高等に変化はないと思われるから（建設業）
来期についても大きく変わらない見通し（建設業）
先行きが不透明である（建設業）
公共関係に期待（建設業）
人の移動は多少戻るが、経済活動全般の正常化はまだ先。海外情勢にも懸念あり（小売業）
引き続きコロナの影響あり（小売・卸売業）
状況は変わらないだろう（卸売業）

業況感に変化はない（卸売業）
景気の悪化に加え、コロナによる受注減少（運輸）
新型コロナウイルスの終息の見通しが難しく、売上が元の水準まで戻るには時間がかかるため (運輸)
まだ予約が入ってこない（飲食業・宿泊）
新型コロナウイルスによる為（飲食業・宿泊）
国内線航空路線の復便に伴う航空旅客の増加（その他サービス業）
お客様の購入意欲に強さを感じられない（その他サービス業）
著変なし（その他サービス業）
大きく変わらないと思うが、人・車が動く事での在庫増を期待する（その他サービス業）
三密防止が当分続くと見込んでいる（その他サービス業）
第二波がくるまでは、期待感で（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

企業の設備投資の停滞（鉄工・機械）
海外の景況悪化による影響（鉄工・機械）
受注減少、生産計画も下方修正（鉄工・機械）
これから更に悪くなるだろう（鉄工・機械）
回復の兆しがない、来期も継続見込み(鉄工・機械)
先行が不透明（鉄工・機械）
今期から更に売上高減少、下げ止まりが見通せない（鉄工・機械）
主要客先の生産調整によるもの（鉄工・機械）
工作機械、産業機械(プレス)等の受注減少（鉄工・機械）
来期に関しては、中国向けが急激に減少してきた。又コマツ向けも在庫調整として、減産傾向とな ってきている為（鉄工・機械）
コマツの生産計画より（鉄工・機械）
世の中的情勢が正常化していない（繊維）
どこまで悪くなるか理解不能（繊維）
建機の受注減（その他製造）
大手受注先による生産調整の影響が強く表れており、今後の回復も不透明感を持つ (その他製造)
屋根工事業者に受注状況確認するも、無いもしくは減少していくとの返答による（その他製造業）
事業環境の悪化や経営資金繰りの改善が見込めない（その他製造）
失業者と休業者を合わせると大変な数、来期が見えない（建設業）
世の中が通常に戻るには、まだまだかかりそう（建設業）
コロナ渦の影響で来期の設備投資などが、大幅減するのではないかと危惧する（建設業）
コロナの影響で受注工事が延期となっているため、来期の見通しが立たない（建設業）
顧客の設備投資の減少（建設業）
仕事の絶対量が増加する事が考えられないので減少（建設業）
民間設備投資の減少(全ての業種)（建設業）
工事発注量の減少（建設業）
実体がない（建設業）
回復には相当時間がかかる（建設業）
コロナで飲食店の売上減少（小売業）
顧客の戻り方が遅くなり、7割しか戻らないと考えている（小売業）

継続するであろう活動自粛による売上減少（小売業）
コロナ渦でイベントなしのため、容器は売れない。飲食店がだめ（小売・卸売業）
早期の回復の見込みは薄い（運輸）
引き続き今の悪い状況が続くと見られる（運輸）
予定が少ない（運輸）
見込みなし（飲食業・宿泊）
色々な自粛によるもの（その他サービス業）
関与先の状態により、業務量が減少すると考えられ売上が減少する（その他サービス業）
公共工事の如何によるところあり。コロナによる財政悪化が気がかり（その他サービス業）
市場の投資計画が発生しない（その他サービス業）
全体に不況感が出て来て、来場者の減少となるか（その他サービス業）
先行き不安で買い控えている（その他サービス業）
新型コロナウイルスによる売上減少もあるが、コロナのせいだと、働かないスタッフの人災にちかいかい (その他サービス業)

(1)-2 DI値

(単位:DI)

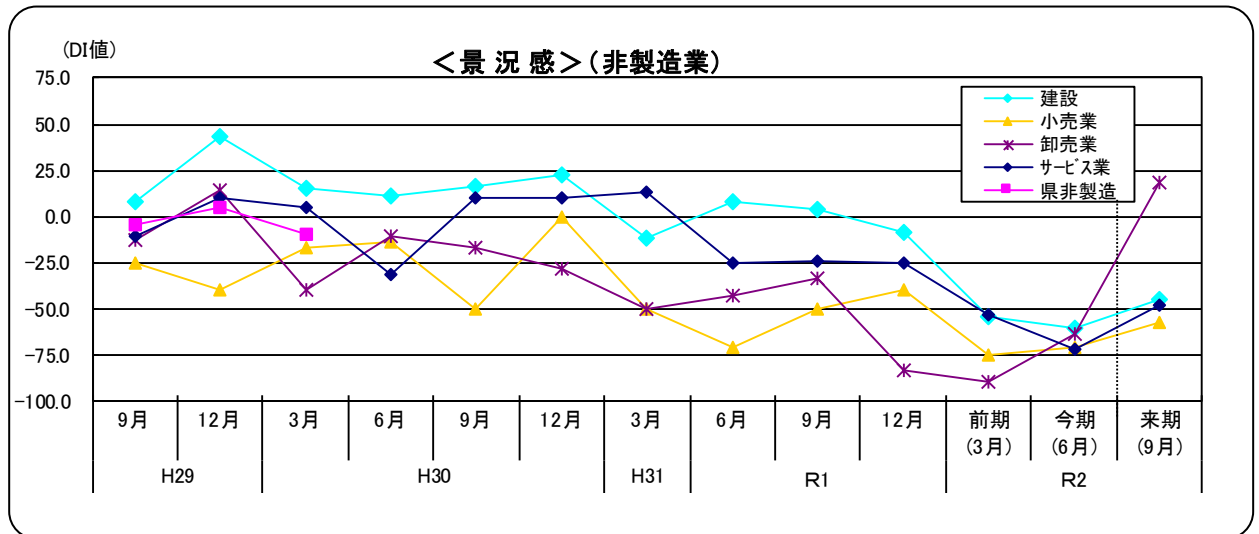
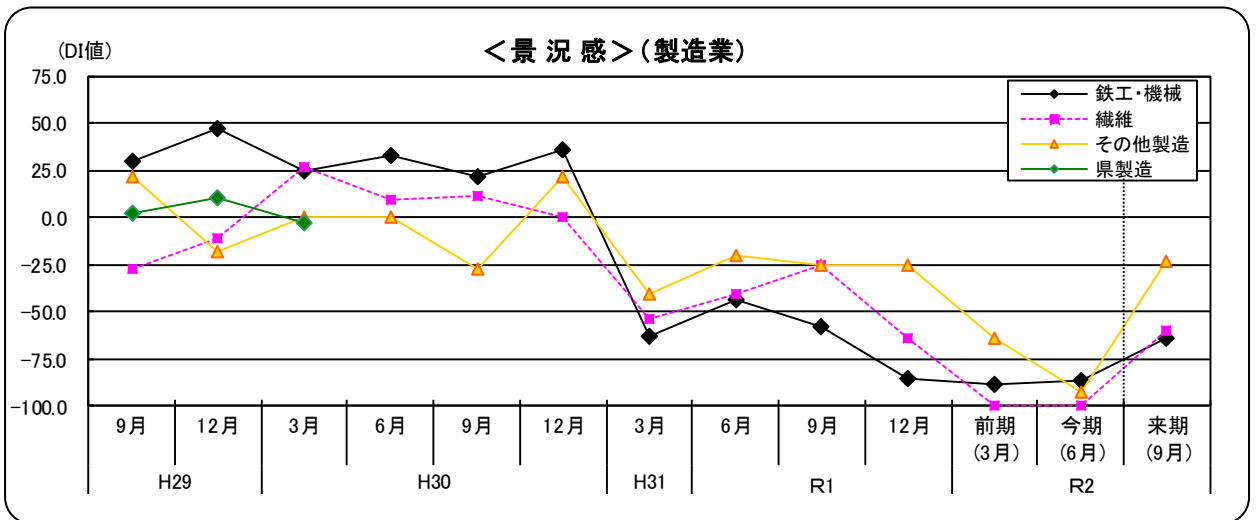
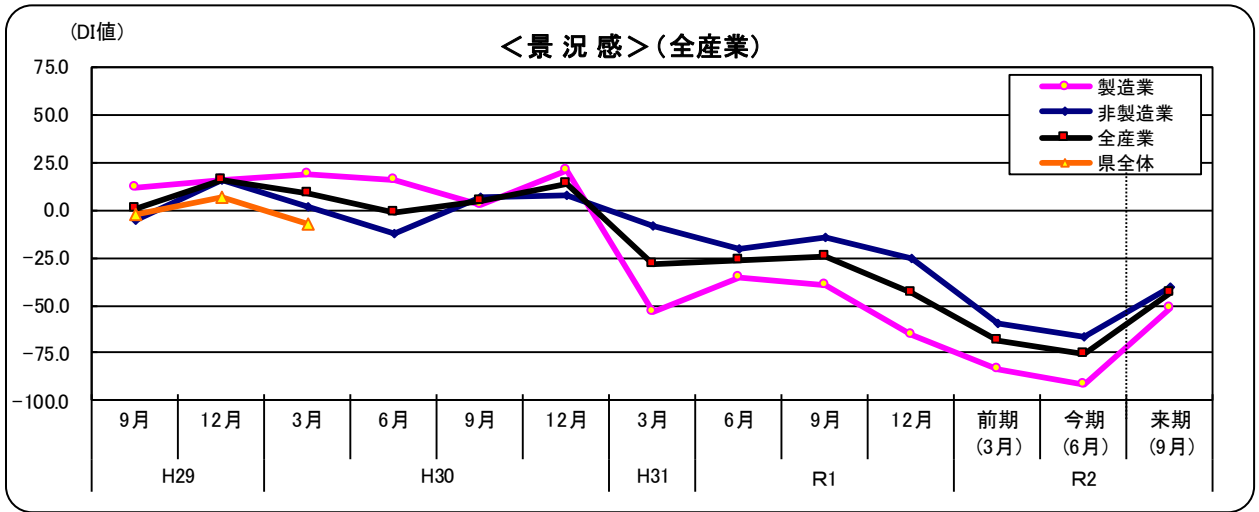
		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	▲ 88.0	▲ 86.4	▲ 63.6
	繊維	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 60.0
	その他製造	▲ 64.3	▲ 92.9	▲ 23.1
	製造計	▲ 83.3	▲ 91.3	▲ 51.1
非製造業	建設業	▲ 54.8	▲ 60.6	▲ 45.5
	小売業	▲ 75.0	▲ 71.4	▲ 57.1
	卸売業	▲ 90.0	▲ 63.6	18.2
	サービス業(運輸含む)	▲ 52.9	▲ 72.5	▲ 48.7
	非製造計	▲ 59.5	▲ 67.0	▲ 40.0
全 体		▲ 68.5	▲ 75.2	▲ 43.7
改善予測		▲ 1.6	31.5	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械において前期 ▲ 88.0 ポイント、今期 ▲ 86.4 ポイントと厳しい状況は続いているが、来期は▲ 63.6 ポイントに、繊維において前期、今期共に▲ 100.0 ポイントだが、来期は▲ 60.0 ポイントに、その他製造業において、前期 ▲ 64.3 ポイントから今期 ▲ 92.9 ポイントと更に悪化するが、来期は▲23.1 ポイントと、やや回復の見通しを示している。

非製造業については、建設業において前期 ▲ 54.8 ポイントから今期 ▲ 60.6 ポイントと更に悪化するが、来期は ▲ 45.5 ポイント、小売において、前期 ▲ 75.0 ポイント、今期 ▲ 71.4 ポイント、来期 ▲ 57.1 ポイントと回復傾向に、卸売においては 前期 ▲ 90.0 ポイントから今期 ▲ 63.6 ポイント、来期 18.2 ポイントと大きく回復する見込みとなっている。サービス業において 前期 ▲ 52.9 ポイントから、今期 ▲ 72.5 ポイントと更に悪化するが、来期は▲ 48.7 ポイントの見込みであり、総じて極めて厳しい状況は続いているが、来期にやや回復のきざしが見えてきたことが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(R2.06)			来期(R2.09)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 91.3	▲ 46	▲ 39	▲ 51.1	▲ 47	▲ 40	48社
非製造業	▲ 67.0	▲ 32	▲ 25	▲ 40.0	▲ 38	▲ 28	92社
全体	▲ 75.2	▲ 39	▲ 31	▲ 43.7	▲ 42	▲ 34	140社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

## (2) - (5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和2年度第1四半期)の状況

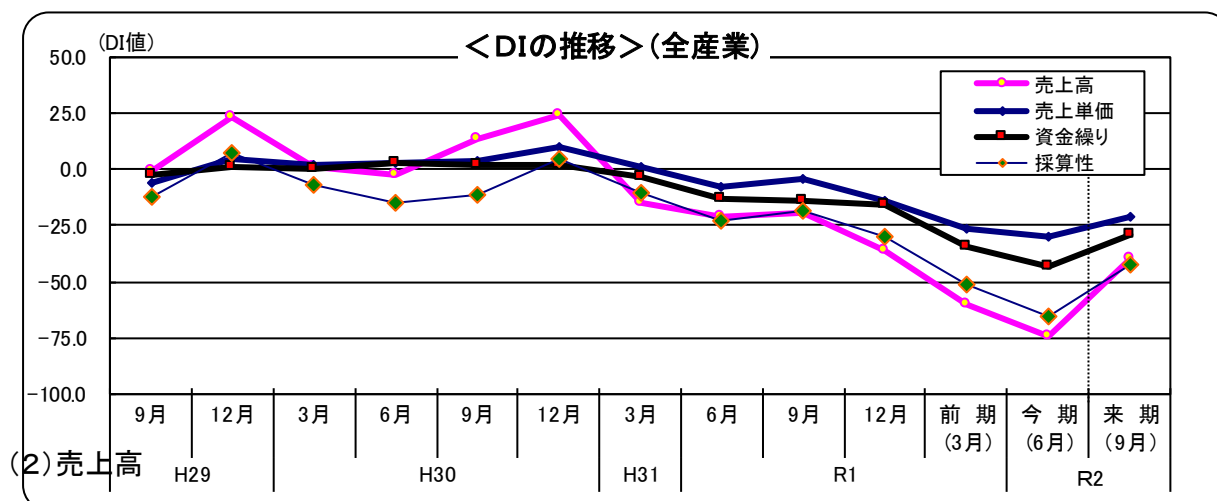
(単位:DI)

	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	▲ 90.9	▲ 13.6	▲ 63.6	▲ 86.4
繊維	▲ 100.0	▲ 30.0	▲ 80.0	▲ 100.0
その他製造	▲ 92.3	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 92.3
建設業	▲ 57.6	▲ 30.3	▲ 21.2	▲ 42.4
小売業	▲ 85.7	▲ 50.0	▲ 42.9	▲ 28.6
卸売業	▲ 63.6	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 72.7
サービス業	▲ 67.5	▲ 42.5	▲ 47.5	▲ 60.0
全体	▲ 74.3	▲ 29.6	▲ 43.4	▲ 65.4

来期(令和2年度第2四半期)の見通

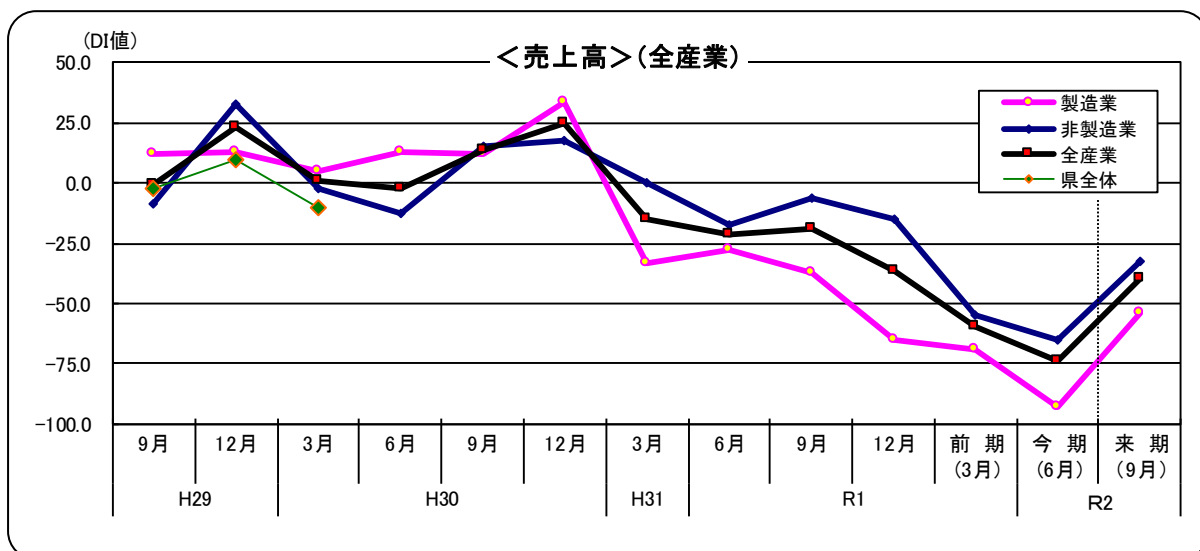
(単位:DI)

業種	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	▲ 63.6	▲ 22.7	▲ 50.0	▲ 72.7
繊維	▲ 70.0	▲ 40.0	▲ 70.0	▲ 80.0
その他製造	▲ 28.6	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 35.7
建設業	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 21.2	▲ 30.3
小売業	▲ 42.9	0.0	▲ 57.1	▲ 71.4
卸売業	27.3	9.1	9.1	0.0
サービス業	▲ 43.6	▲ 20.5	▲ 25.6	▲ 35.9
全体	▲ 39.7	▲ 20.7	▲ 29.4	▲ 42.6
改善予測(今回)	34.6	8.9	14.0	22.8
改善予測(R02.3)	▲ 1.6	▲ 7.8	▲ 8.7	▲ 7.1
改善予測(R01.12)	0.2	0.8	▲ 10.1	▲ 1.4



(単位:DI)

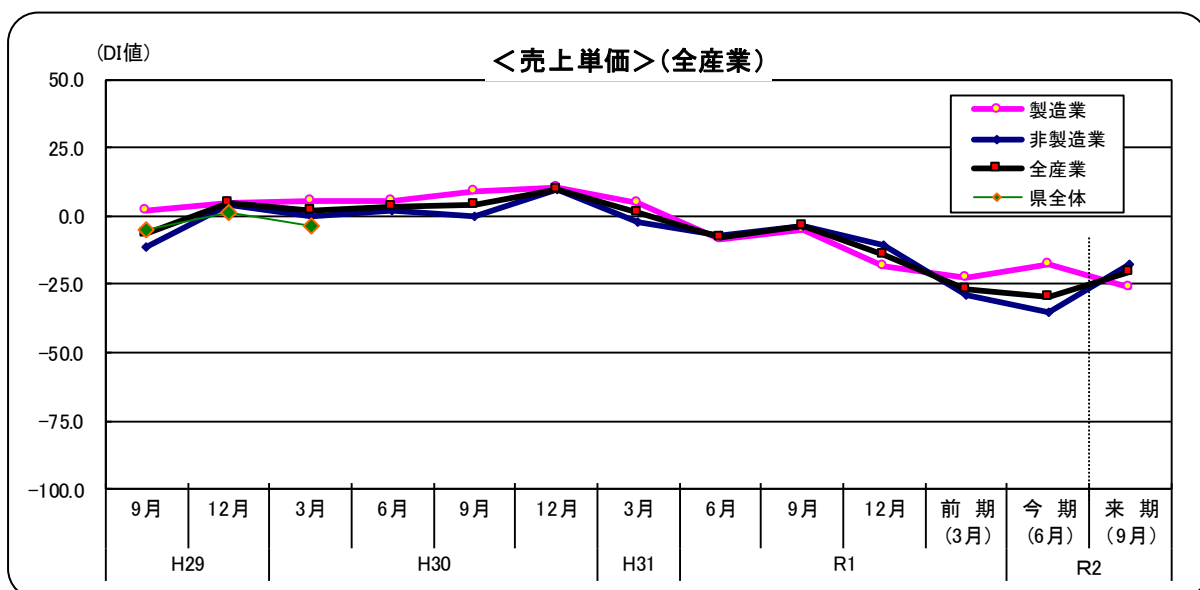
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 63.6	▲ 70.0	▲ 28.6	▲ 54.3	▲ 36.4	▲ 42.9	27.3	▲ 43.6	▲ 32.2	▲ 39.7
今期	▲ 90.9	▲ 100.0	▲ 92.3	▲ 93.3	▲ 57.6	▲ 85.7	▲ 63.6	▲ 67.5	▲ 64.8	▲ 74.3
前期	▲ 84.0	▲ 77.8	▲ 35.7	▲ 68.8	▲ 38.7	▲ 75.0	▲ 90.0	▲ 55.9	▲ 54.4	▲ 59.8



(3) 売上単価

(単位:DI)

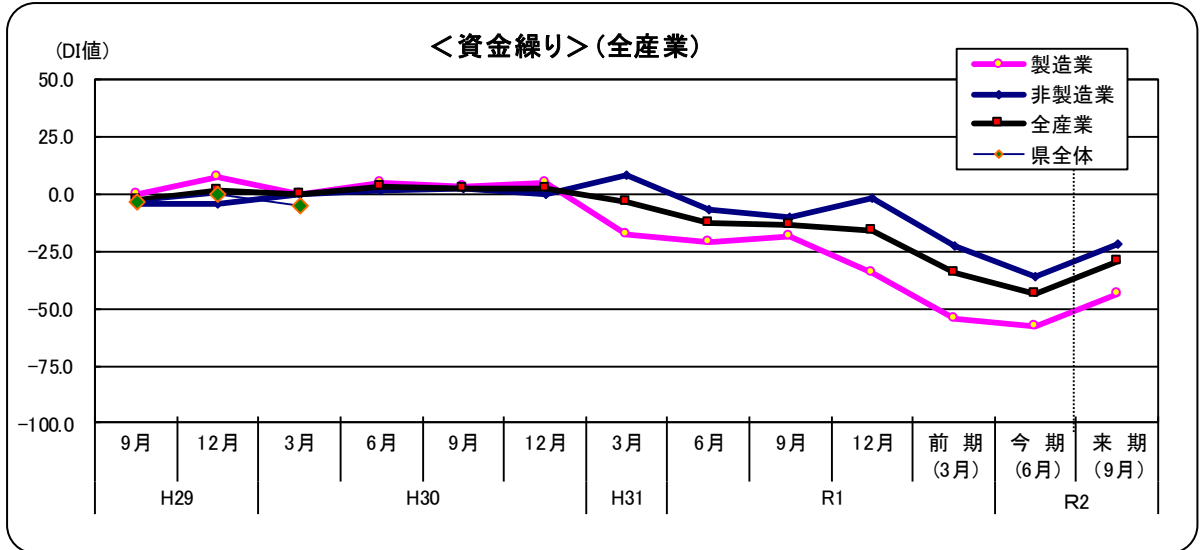
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 22.7	▲ 40.0	▲ 21.4	▲ 26.1	▲ 27.3	0.0	9.1	▲ 20.5	▲ 18.0	▲ 20.7
今期	▲ 13.6	▲ 30.0	▲ 15.4	▲ 17.8	▲ 30.3	▲ 50.0	▲ 18.2	▲ 42.5	▲ 35.6	▲ 29.6
前期	▲ 24.0	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 22.9	▲ 22.6	▲ 75.0	▲ 40.0	▲ 26.5	▲ 29.1	▲ 26.8



(4) 資金繰り

(単位: DI)

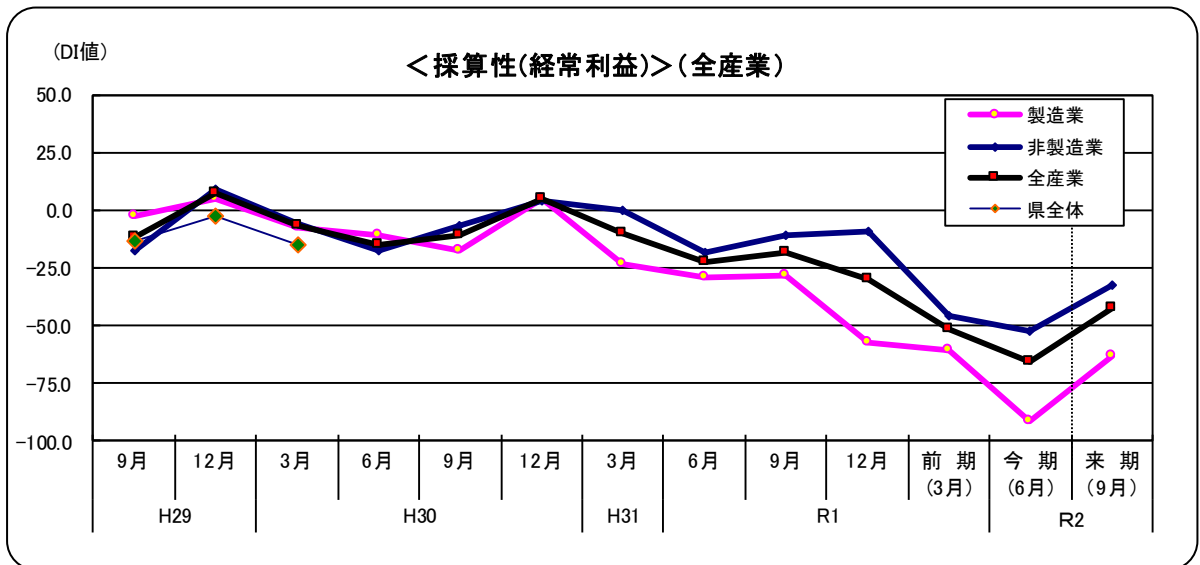
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 50.0	▲ 70.0	▲ 14.3	▲ 43.5	▲ 21.2	▲ 57.1	9.1	▲ 25.6	▲ 22.2	▲ 29.4
今期	▲ 63.6	▲ 80.0	▲ 30.8	▲ 57.8	▲ 21.2	▲ 42.9	▲ 36.4	▲ 47.5	▲ 36.3	▲ 43.4
前期	▲ 64.0	▲ 66.7	▲ 28.6	▲ 54.2	▲ 9.7	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 29.4	▲ 22.8	▲ 34.6



(5) 採算性(経常利益)

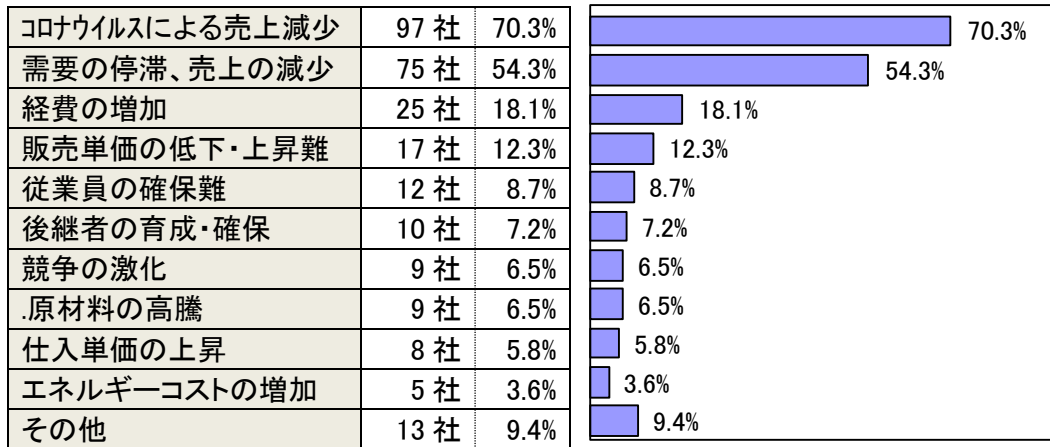
(単位: DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 72.7	▲ 80.0	▲ 35.7	▲ 63.0	▲ 30.3	▲ 71.4	0.0	▲ 35.9	▲ 32.2	▲ 42.6
今期	▲ 86.4	▲ 100.0	▲ 92.3	▲ 91.1	▲ 42.4	▲ 28.6	▲ 72.7	▲ 60.0	▲ 52.7	▲ 65.4
前期	▲ 68.0	▲ 66.7	▲ 42.9	▲ 60.4	▲ 29.0	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 45.6	▲ 51.2



今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=138)



	鉄工・機械 (n=23)	繊維 (n=10)	その他 (n=15)	建設業 (n=32)	小売業 (n=7)	卸売業 (n=10)	サービス業 (n=41)
コロナウイルスによる売上減少	87.0%	90.0%	73.3%	40.6%	57.1%	80.0%	78.0%
需要の停滞、売上の減少	60.9%	70.0%	53.3%	40.6%	71.4%	60.0%	53.7%
経費の増加	13.0%	0.0%	6.7%	28.1%	42.9%	30.0%	14.6%
販売単価の低下・上昇難	13.0%	30.0%	13.3%	12.5%	0.0%	0.0%	12.2%
従業員の確保難	4.3%	0.0%	0.0%	21.9%	14.3%	10.0%	4.9%
後継者の育成・確保	4.3%	0.0%	6.7%	21.9%	0.0%	0.0%	2.4%
競争の激化	8.7%	0.0%	0.0%	3.1%	42.9%	10.0%	4.9%
原材料の高騰	0.0%	10.0%	6.7%	9.4%	0.0%	10.0%	7.3%
仕入単価の上昇	0.0%	0.0%	6.7%	6.3%	28.6%	20.0%	2.4%
エネルギーコストの増加	0.0%	10.0%	6.7%	3.1%	14.3%	10.0%	0.0%
その他	8.7%	10.0%	0.0%	3.1%	14.3%	20.0%	14.6%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

海外実習生の入れ替え時期にも関わらず、入国、帰国が制限されている事(鉄工・機械)
コマツの注文激減(鉄工・機械)
ハサップなどの導入、経費が重い(卸売業)
営業自粛に伴う機会喪失(その他サービス業)
航空路線の減便・運休(その他サービス業)
特になし

Q具体的な問題点や対応策

海外実習生の入れ替え時期にも関わらず、入国、帰国が制限されている事(鉄工・機械)
コマツの注文激減(鉄工・機械)
これからの需要はどうなるのだろう(鉄工・機械)
受注不足・大幅な売上減少(鉄工・機械)
コロナウイルス感染防止対策(第2波、第3波等対応について)(鉄工・機械)

雇用調整休業実施（鉄工・機械）
仕事量激減の為、休業日約半分/月と余剰人員の対応（鉄工・機械）
変動員の削減（鉄工・機械）
今のところ動けないので、雇調金で対策している（鉄工・機械）
各種給付金などを活用し、とにかく会社を維持する（繊維）
外注工場の後継者難・廃業（繊維）
外出自粛で、消費の大幅減少（繊維）
新型コロナウイルスの第2波に備え、在庫圧縮へ（繊維）
入らないので出るものは止める。貰えるものは貰う。原則対応（繊維）
売上の減少は不可避である為、経費削減の取り組みが益々重要である（その他製造）
臨時休業の実施（その他製造）
注文が激減したが、国による応援で助かっている（その他製造）
建設工事において、民間需要の減少が予想される。営業を強化している（建設業）
競合先の受注等で、単価競争が激しくなった（建設業）
イベント関連の中止や縮小（建設業）
先行き不安（建設業）
公共事業の発注が6月中頃からで毎年一緒（建設業）
外注を極力減らし、自社にて消化し効率をよくする（建設業）
コロナ対策費等経費が増加（建設業）
集客力を付けるための施策をする（小売業）
需要減、採算管理の徹底（小売業）
人件費が上昇（小売業）
ドライバー不足による商品の延着（卸売業）
資金が回らなくなる、各助成金の導入（卸売業）
雇用調整助成金にて対応するも、いつまで続くか（運輸）
コロナ前の人出には戻っていない（飲食業・宿泊）
助成金もらっている従業員のメンタル（飲食業・宿泊）
新型コロナウイルスが落ち着くまでは、現状出来ることしかしない（飲食業・宿泊）
1年内に期待（飲食業・宿泊）
設備投資計画が市場にない（その他サービス業）
営業自粛に伴う機会喪失（その他サービス業）
航空路線の減便・運休（その他サービス業）
車の使用機会減による消耗品の消費減、事故・故障の減（その他サービス業）

## 議員・評議員各位

## 「小松商工会議所景気見通し調査」

## 「緊急！新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けている皆さま方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※2月・3月・5月に実施した同調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 \_\_\_\_\_

(個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は

1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸  
6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業

従業員数は

1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名  
5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

## 景況・業況の動向

○前期＝令和1年度第4四半期(令和2年1月～3月)

○今期＝令和2年度第1四半期(令和2年4月～6月、但し6月は見込み)

○来期＝令和2年度第2四半期(令和2年7月～9月)

	I. 今期(第1四半期)の状況	II. 来期(第2四半期)の見通し
	前期(第4四半期)と比べた 今期(第1四半期)の状況	今期(第1四半期)と比べた 来期(第2四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

## 今期(第1四半期) 直面している経営上の問題点(複数回答可)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇          | 3. 経費の増加               |
| 4. 販売単価の低下・上昇難      | 5. エネルギーコストの増加         |
| 6. 原材料の高騰           | 7. 需要の停滞、売上の減少         |
| 8. 従業員の確保難          | 9. 後継者の育成・確保           |
| 10. その他( )          |                        |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。